

分子磁石を用いた量子コンピューターを指向した スピンキュービットと超高密度記録素子 ー 野茂とイチローと大谷はだれが偉いか？ ー



山下 正廣 名誉教授
東北大学金属材料研究所

2022年のノーベル物理学賞が「量子もつれの実験的検証」に与えられたが、量子コンピューター開発にとって重要な発見であった。本講演ではまず、量子コンピューターの開発にとって必須の分子スピンキュービット開発について紹介する。次に、ムーアの限界を越すために単分子磁石を用いた磁気記録素子について紹介する。最後に、科学的に見て野茂とイチローと大谷は誰が偉いかについて紹介する。

2025年11月7日（金）14:30-16:00 工学部1号館 1101講義室（10階）
連絡先：酒田 陽子（内線3335）